

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	かなゆめキッズまへる		公表日		令和8年 5月 26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	・体が小さい子が手に取れるところ、大きい子たちが行ける場所が分かれている	・児童の成長と共にスペースが狭く感じる ・クールダウンで静かな部屋（空間）が必要 ・児発（特に2・3歳）と放り場同じ空間
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく把握化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	6	1	・マットをひいてケガも予防できる	・就学児童に対してコーナー遊びが障がいの特性に応じていないと思う
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・心地よく過ごせるようSS活動をして環境整備に努めている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・完全防音の個室はないが、学習室やロフト内など希望がある際には使用することを認めている。	・理想は音も少しは遮断できるスペースが確保したい
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	・目標設定にはもっと力を入れた。振り返りは職員が積極的に参加できている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・自己評価アンケートを実施したり宿題の取り組みについてなど、保護者の意向を把握する機会を設けている。	
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・朝のミーティングや業務終了後、職員の個別面談などで意見を聞き業務改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	・外部講師を招き業務改善、支援の質を向上できるようにしている	・外部評価までできているかわからない ・外部評価はみたことがない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・外部講師による研修や支援の振り返りなどを行っている	
適切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・公表している。 ・保護者会では、どのような取り組みをしたか保護者に周知した。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	1	・事業所の主観的な個別支援計画書を作成しないように、相談員さんからのサービス等利用計画書を参考にしながら保護者の意向も盛り込んで作成している。	・保護者の意向はきいているが、児童の聞き込みや児童中心の計画はできていない。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・支援者会議で共有している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・支援者会議や日々のミーティングで共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		・日々の行動観察は支援記録に書いているが、インフォーマルな事業所だけのアセスメントは用意していない。用意し、支援に活かしていきたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設	6	1		・具体的にされていることと、そうでないことがあると思う。今後は明確に設定したい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・毎月、みんなで話し合いを行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・それぞれ意見を出し合っている。 ・曜日ごとにプログラムが分けられているが、児童の利用曜日とプログラムが偏らないように配慮している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・集団活動をメインで行うが、児童の特性に応じて関わり方を工夫している。授業終了後であるため、時間が限られるが個別対応の時間を設けている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・リーダーやフォロー役を決めて協力している。 ・日々のミーティングでその日の活動や特記を職員間で共有している	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・振り返りも行い、今後の支援へつなげるようにしている		
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・振り返りも行い、今後の支援へつなげるようにしている		
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・職員全体でモニタリングを実施して、支援の方向性や目標の見直し等を行っている。		
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7	0		・地域交流の活動が少ないように思える。次年度は増やしていきたい。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	・こども会議をしたり個別的な支援を行っている。		

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・モニタリングや担当者会議などを実施。必要に応じて、関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	・学校発行のスクリーンでや送迎時に先生との共有を必要に応じてしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	・就学するには、就学前に利用している施設と連携を図っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	5		・現段階はそのような児童はいないが、今後はそのようになりたい。 ・事例がないのでわからない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4		・地域にセンターがないのでできていない。今後やっていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	・長期休みに交流できるようプログラムに組み込んでいる。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3	・積極的に参加はできていないが、業務と都合が合う時には「かざぐるま連絡会」に参加している。	・どちらともいえない
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・送迎時や日々、保護者と共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	・事業所主催の研修は実施していないが、市からの情報がある際には保護者に情報提供している。	・参加できる研修の機会はなかった。今後、取り入れていく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・契約時の時に時間をかけて、保護者と読み合わせをしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・計画を作成する際には、アセスメントから保護者のニーズを読み取り計画している。また、児童の発達段階に合わせて「やってみよう」を聞き取りしてプログラムに反映させている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	・同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・その都度必要に応じて面談を実施したり送迎時に助言や支援等を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	・父母の会はないが、保護者会、交流会を実施してきた。兄弟同士の交流もできたように思える。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・契約時に苦情窓口については周知している。また、苦情がある場合には迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・毎月、ま～るだよりを発行している。保護者との連絡体制についても発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・写真や動画使用に関する同意書をとりなど、個人情報の取扱いには留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・保護者のニーズに合わせて、公式LINEや文書・電話・対面での聞き取りなどの配慮をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	・事業所への招待や交流がもてるよう、近隣の事業所に出向いている。	・今後は地域のデイサービスと連携していきたい。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・BCPを策定し年間計画をたてて、訓練を実施している。	・BCP策定はしているが、職員への周知は不十分さがある。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・事前に保護者からアセスメントをとり、データをとって保管し活用している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	・特定の食材を除去する必要がある児童はいないが、食物アレルギーがある場合には保護者に細かく聞き取りをしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・常に安全かどうかを見て決断している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	・保護者安否確認や消防訓練については、送迎時にお伝えしているようにしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	・ヒヤリハットを共有。期間をあけずに予防策・対応策を検討している。	・もっと細かく共有すべき。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・虐待防止について事業所内、外部研修に参加して共有するなどしている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1		・現在は対象児がないため、特に話し合いはしていない。